

これから学校見学をお考えの
保護者の方へ



学校見学の観点

これから就学や転学に向けて、学校見学をお考えの保護者の方々が、見学の際にどのような点を中心に見学をすることが望ましいのかについて簡単にまとめてあります。

この観点は、あくまでも一般的なものですので、お子さんの様子をもとに保護者の方々が考えを整理なさる際に参考としてお使いください。

1 お子さんの学校生活を想定する

日常生活動作や現在の幼稚園・保育所・学校での生活から、お子さんが支援を必要とする場面を思い浮かべて、学校の様子を見ることが大切です。あらかじめお子さんの様子を想定することで、見学の際に何を見て、何を質問すれば良いのか整理されてきます。

学校での活動を、登校から下校までの一日の流れでイメージし、どのような支援があればお子さんがスムーズに学校生活を送ることができるのかを考えてみましょう。「どのような集団で（どんな子どもたちと一緒に活動するのか）」「どのような内容を」など、実際に活動の様子を見てくることも大切です。

何となくのイメージで構いません。実際に見学した後で、気になることや不安なことが出てくる場合も多いですので、その際には、見学後に学校の先生に聞いてみるのも良いと思います。

2 具体的な観点

(1) 健康や安全面での支援について

① 医療的ケアについて

- ・看護師の対応
- ・ケアを行う場所

② その他

- ・服薬管理、方法
- ・緊急時の対応（発作対応 など） など…

※この点は、学校としての体制が大きく影響します。具体的に必要な支援について、どのように対応できるのかを確認することが大切です。また、ご家庭でも、どのような協力ができるのかも考えておく必要があります。

(2) 通学について

- ・通学方法の選択（徒歩、送迎、スクールバス、誰がどのように送迎 など）

※スクールバスについては、乗車条件やバス停の場所、バス停までの送迎、利用方法など、細かな点についても確認することが大切です。

- ・通学における支援内容

(3) 学習環境

- ・教室について（何階、広さ、活動や休憩スペースの確保 など）
- ・トイレや水道などの形状や場所
- ・給食を食べる場所や食事方法
- ・学級の体制、学級編制、学級や学年ごとの在籍人数
- ・一緒に活動する児童生徒の様子や支援体制
- ・学習内容や支援内容 など…

(4) 学校や学級の雰囲気

- 学校としての考え方や、支援の方針など、全体としての雰囲気、印象という点も見て来られると良いと思います。

3 宮城県内の支援学校

宮城県内の支援学校は別紙資料のとおりです。主な障害種によって学校が設置されています。入学や転学においては、障害種に応じた就学が基本となります。そのため、入学や転学する場合は、お住まいの市町村教育委員会との話し合いが必要となります。

【留意点】

- 宮城県内の知的障害特別支援学校には、それぞれ「学区」が設定されています。
- 宮城県立拓桃支援学校と宮城県立西多賀支援学校、並びに宮城県立山元支援学校の病弱については、併設されている病院に入院している児童生徒が対象の学校となります。
- 仙台市立鶴谷特別支援学校は、仙台市内に居住している児童生徒対象の学校です。
- 宮城教育大学附属特別支援学校は、小学部、中学部においても入学者選考があります。
- 宮城県立支援学校岩沼高等学園、宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス、宮城県立支援学校小牛田高等学園、並びに宮城県立支援学校女川高等学園は、職業自立を目指す軽度の知的障害の生徒対象の、高等部のみの支援学校です。岩沼高等学園の本校と小牛田高等学園、並びに女川高等学園は寄宿舎が併設されており、1年生は寄宿舎で生活することが必須になります。
- 宮城県立船岡支援学校は、寄宿舎が併設されています。しかし、寄宿舎には看護師がいません。そのため、医療的ケアが必要な児童生徒については、自己管理できることが条件になります。
- いずみ高等支援学校は、私立の学校で、女子のみの高等支援学校です。寄宿舎も併置されています。

※どの支援学校もホームページがあり、学校概要の詳細について情報を得ることができます。学校見学会などの案内も掲載されていますので、ご覧下さい。

